



4 案内標識と注意喚起標識の 整備



4-1 案内標識と注意喚起標識の整備方針

ビギナーや当県を初めて訪れたサイクリストであっても、安全に安心してサイクリングを楽しむことができるよう、コース案内や注意喚起のための統一的な標識の整備についてのガイドラインを示す。

【いばらき自転車活用推進計画で位置づける目標と施策】

「目標 1：サイクルツーリズムの推進による地域の活性化」

「施策 1. 豊富な地域資源を活用した仕掛けづくり」

地域の様々な資源を活用したターゲットごとの地域特性を踏まえたセグメントに合った多彩なサイクリングを提供するコースづくりを推進し、地域の魅力体験や地域の人々との交流の促進を図る。

「目標 2：自転車交通の役割拡大に向けた自転車通行空間の整備」

「施策 1. いばらき自転車ネットワークに基づく計画的な整備推進」

サイクリストや観光客の安全で安心・快適な自転車利用の促進に向けて、「いばらき自転車ネットワーク」に基づき、計画的な走行空間の整備を推進する。

(1) 基本的考え方

■ 標識整備の考え方

項目	種類	考え方
1) 安心して走行できるサイクリング環境の実現に向けて	① 利用者にわかりやすい充実したコース案内	● コースを初めて利用する人でも迷わないように、コース上の交差点や迷いやすい箇所にはコース案内を設置する。
	② サイクリング関連施設・観光地へのわかりやすい誘導	● 利用者が迷うことなく目的地に到達できるように、コース上に鉄道駅などの拠点施設や観光地への誘導案内を設置する。
2) 安全に走行できるサイクリング環境の実現に向けて	③ 危険箇所での注意喚起	● 自転車関連事故を防ぐために、自転車と自動車の双方に向けて、交差点や一般道との合流地点・歩行者が多い地点・自転車が車道を通行する区間等に注意を促す案内標識等を設置する。
	④ 自転車利用者に通行マナー・ルールを周知	● 自転車の危険運転を防ぐために、車道の左側通行や交差点の通行方法など、通行マナー・ルールを周知する案内標識等を設置する。 ● サイクリストどうしの挨拶等の啓発に関する表示も行う。

■デザインに関する考え方

項目	考え方
◆誰にでも分かりやすいデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●伝えたい内容がひと目で分かるように、ピクトグラムやシンプルな語句の使用、外国語の併記を前提としたデザインとする。 ●自転車の速度や目線の高さを踏まえて、案内標識等の大きさや設置位置を決定するとともに、夜間の視認性にも配慮する。
◆デザインコードの設定	<ul style="list-style-type: none"> ●統一的なデザインを採用することにより、地域の景観形成に寄与するとともに、サイクリングコースであることを利用者に周知する。

■さらに価値を高める工夫

考え方
<ul style="list-style-type: none"> ●現地の案内標識等の設置においては、マップやウェブサイトと連携し、体系的なサイクリングコースの案内を実現する。 ●QRコードの設置により、どこにいても必要な情報にアクセスできる環境を実現する。 ●外国人利用者等を想定し、拠点施設等において WiFi サービスの充実を図る。

(2) 対象とする標識

- ・案内標識は以下の通り分類される。
- ・本ガイドラインでは、法定外表示である「看板」を対象とする。

種類	定義
◆道路標識	●道路交通法第2条第1項15号に規定される、道路の交通に関し、規制又は指示を表示する標示板をいい、種類、様式等については、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令第1条～第4条により規定される。
◆道路標示	●道路交通法第2条第1項第16号に規定される、道路の交通に関し、規制又は指示を表示する標示で、路面に描かれた道路鋸、ペイント、石等により路面に描かれた線、記号又は文字をいい、種類、様式等については道路標識、区画線及び道路標示に関する命令第8条～第10条により規定される。
◆看板	●道路標識、区画線及び道路標示に関する命令に規定されていない、法定外の内容を表示する看板をいう。



(3) 案内標識と注意喚起標識の役割と種類

■案内標識と注意喚起標識の役割

基本的な考え方を踏まえ、本ガイドラインにおける案内標識と注意喚起標識の役割を以下に示す。

基本方針		機能	役割	
安心して通行できる 【案内標識】	① 利用者にわかりやすい充実したコース案内 ② サイクリング関連施設・観光地へのわかりやすい誘導	案内	◆コース案内	●コース上の交差点や迷いやすい地点において、サイクリングコースであること及び進行方向を案内 ●現在位置、起点・目的地までの距離を案内 ●サイクリングコース周辺道路からサイクリングコースへの誘導案内
			◆目的地案内	●目的地を予告、目的地までの距離を案内 ●サイクリングコース周辺の観光地を案内
			◆コースマップ	●拠点施設でサイクリングコースの全体像を案内
安全に通行できる 【注意喚起標識】	③ 危険箇所での注意喚起	警戒	◆自転車への注意喚起	●交差点手前での注意喚起（注意・徐行・とまれ） ●自動車・歩行者・釣り人に注意することを促す ●車止め手前での注意喚起 ●曲り角での注意喚起・転落防止 ●幅員が狭い区間・急勾配の区間での注意喚起
			◆自動車への注意喚起	●幅寄せしないことを促す ●横断する自転車がいることを注意喚起
			◆歩行者への注意喚起	●自転車に注意することを促す
	④ 自転車利用者に通行マナー・ルールを周知	指示	◆横断方法指示	●交差点の横断方法を指示（特に二段階右折）
◆左側通行指示			●左側通行を指示	
応援		◆自転車への応援	●ヒルクライム等厳しいコースで自転車を激励・応援し、奮起を促す	

(4) 整備方針

案内標識と注意喚起標識の整備方針を以下に示す。

- 自転車利用者に対して、サイクリングコースであることや自転車向けの案内標識等であることをわかりやすく示すため、共通の規格（配色・フォント等）用いた案内標識等とする。
- 景観に配慮するとともに、走行中の自転車利用者やドライバーにも見えやすい配色・文字サイズとする。
- 警戒標識等は、遠くからでも目立つように配慮した配色とし、ピクトグラムを用いるなどひと目で分かりやすいデザインとする。

■ 配色

いばらき自転車ネットワーク路線に関わる案内標識等であることがひと目で理解できるように、共通の配色を設定する。ナショナルサイクルルートとして先行する「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の案内標識等のイメージを踏襲した配色とする。

なお、指定色の使用が困難な場合は、同程度の色を使用する。

	考え方	例 示	色の規格
【案内標識】	デザインの基本的考え方で示されている青色系の色と黄色系の色を組み合わせる用いる。		<青色系> JIS : 10 B、V4、C10 Pantone: 3005 C <黄色系> JIS : 2.5 Y、V8、C14 Pantone: Yellow C
【注意喚起標識】	自転車利用者やドライバーの注意を惹きやすくするため、白色をベースとし、赤色系の色を組み合わせる用いる。		<赤色系> JIS : 2.5 Y、V8、C14 Pantone: 185 C



■フォント

案内標識等に用いるフォントについては、利用者の視認性を考慮するとともに、いばらき自転車ネットワーク路線として統一感を持たせるため、ナショナルサイクルルートとして先行する「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の案内標識等のフォントを踏襲した以下の通り設定する。

		フォント名
和文		モリサワ見出ゴMB31
欧文	十分にスペースがある場合	Interstate Bold
	スペースが狭い場合	Interstate Bold Condensed
	単語が長く、スペースが非常に狭い場合	Interstate Bold Compressed

※入手方法

- ・モリサワ見出ゴMB31
→モリサワ株式会社 (URL:<http://store.morisawa.co.jp/>) より、フォント使用ライセンスを購入
- ・Interstate Bold、Interstate Bold Condensed、Interstate Bold Compressed
→Font Bureau (URL:<http://www.fontbureau.com/>) より、無料でダウンロード可能

■サイズ

案内標識及び注意喚起標識のサイズについては、筑波大学フィールド内における実物大の標識を用いた見え方検証により、以下のとおりとした。

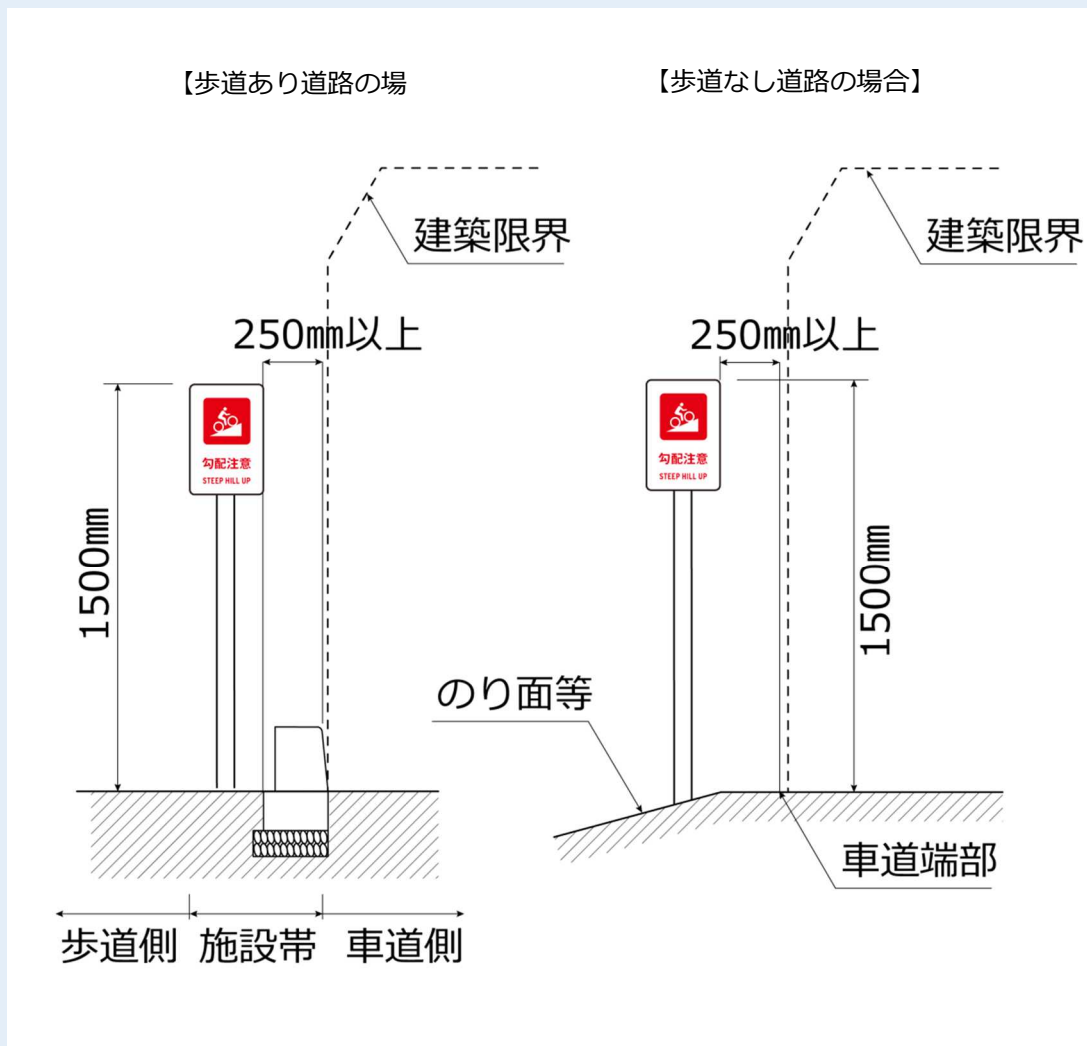
なお、ここでは設置間隔等の検証も行った。

案内標識	標識幅 W=200mm を基本
注意喚起標識	標識幅 W=300mm を基本



■ 設置高さや位置

- ・ 標識の設置高さは標識上端が 150 c m になるように設置する。[※]
 ただし、複数の拠点施設を案内する分岐案内サインについては標識上端が 180 c m になるように設置する。
- ・ 道路構造令第 12 条の建築限界の規定に準じて設置位置を定める。
- ・ 歩道等に標識を設置する場合で、車道に接続して路肩を設ける場合には建築限界のみを考えれば必ずしも歩道端に 25cm の余裕を確保する必要はないが、表示板の破損を防ぐためこの場合も同様に 25cm を確保することが望ましい。
- ・ 歩道等を有しない道路では、車道部端の外側に設置することを原則とする。この場合路側に余裕があれば車道部端から表示板の端までの空間を 25cm 程度確保することが望ましい。

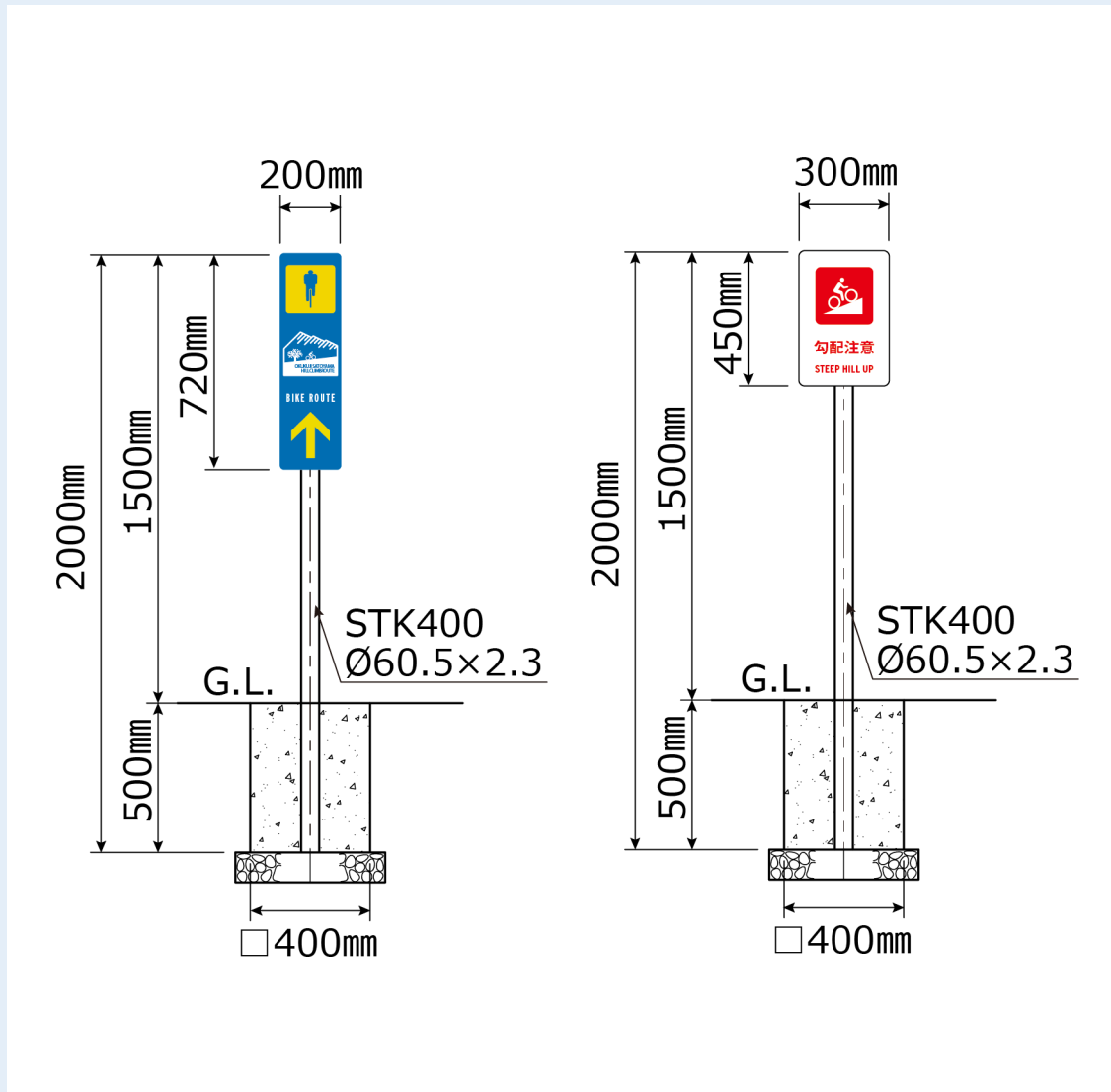


※ 標識の設置位置や標識板の設置高さについては、設置する道路の性格や交通の状況等を考慮し、各道路管理者と協議のうえ決定すること



■ 基礎構造

- ・ 標識の基礎は、コンクリート基礎を標準とする。
- ・ 標識設置箇所の状況によっては、土中打ち込み基礎に適宜変更する。



※基礎の寸法については、案内サインのサイズ、標識設置箇所の状況等によって適宜変更すること

はじめに

1
ガイドラインの概要**■ルートサイン**

本ガイドラインの適用範囲とする「奥久慈里山ヒルクライムルート」「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」「つくば霞ヶ浦りんりんルート」について、そのルートが瞬時に分かるよう、また、外国人サイクリストにとっても分かりやすくなるよう、それぞれに以下のようなルートサインを施す。

2
デザインの基本的な考え方

奥久慈里山ヒルクライムルート

3
自転車通行空間の整備

大洗・ひたち海浜シーサイドルート

4
案内標識と注意喚起標識の整備

つくば霞ヶ浦りんりんルート

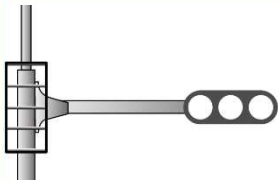




5
拠点施設の整備方針6
参考資料



(5) 本ガイドラインで対象とする標識

■案内標識

本ガイドラインで対象とする案内標識の種類とその役割を以下に示す。

名称	役割	型式	デザイン例
A 交差点名表示	●ルート案内を行う信号交差点で交差点名を明らかにする。	信号機添架	
B ルート案内(予告)	●ルート上で右左折する交差点や迷いやすい交差点で案内を行う。 ●交差点手前 50mで予告し、手前 10mで案内、分岐または右左折後に確認のためのルート名、進行方向を明示する。	案内看板	
C ルート案内(案内)		案内看板	
D ルート案内(確認)		案内看板	
E ルート案内(単路部確認)	●ルート上で分岐点や右左折の案内がない区間が 5km 以上続く場合、その中間点を目安に確認のための案内を行う。	案内看板	

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	役割	形式	デザイン例
F	距離標	案内看板	
G	ルート案内	パネル	
H	拠点施設案内	案内看板	
I	休憩施設案内	案内看板	
J	ルート案内	案内看板	
K	拠点施設案内	案内看板	
W	拠点施設への分岐案内	案内看板	



■ 注意喚起標識

本ガイドラインで対象とする注意喚起標識の種類とその役割を以下に示す。

名称	役割	型式	デザイン例
L 急カーブ注意	●急なカーブ、見通しの悪いカーブの手前直線区間で事前にカーブの存在を知らせる。	注意喚起看板	
M 狭幅員注意	●道路幅員が狭くなる地点の手前直線区間でその存在を知らせる。	注意喚起看板	
N 歩行者注意	●人が集まり、出入りが激しい公共施設の手前や道路に面した小学校等の出入口の手前でその存在を知らせる。	注意喚起看板	
O 急勾配注意	●急勾配が続く手前の直線区間でその存在を知らせる。	注意喚起看板	
P 合流注意	●見通しの悪い無信号交差点や変則交差点などで自動車との接触の恐れがある地点を知らせる。	注意喚起看板	
Q 左側通行遵守	●サイクリストに対して左側を走行するよう周知する。	注意喚起看板	

名称	役割	型式	デザイン例
R 路面凹凸注意	●路面状況が悪くなる区間を事前に知らせる。 (修繕や整備が困難な区間)	注意喚起 看板	
S 自転車横断注意	●自転車が人や車と錯綜する区間において、歩行者や車のドライバーに対して注意を促す。	注意喚起 看板	
T 自転車止まれ	●自転車が止まらないことにより、自動車や歩行者と接触のおそれがある危険箇所を事前に知らせる。	注意喚起 看板	

■その他（補助標識：応援メッセージ）

本ガイドラインでは、サイクリストへの応援メッセージをルートとの状況とあわせて提供するための標識も対象とする。その種類と役割を以下に示す。

名称	役割	型式	デザイン例
U 応援メッセージ	●ヒルクライム、ロングライドを楽しむサイクリストに対して、目的地までの応援メッセージを送る。	補助看板	
V 応援メッセージ	●ヒルクライムを楽しむサイクリストに対して、勾配やカーブ数などを提供するとともに応援メッセージを送る。	補助看板	



4-2 設置基準

名称	案内標識	交差点名表示	A
役割	<ul style="list-style-type: none"> ● ルートの分岐・右左折案内看板を設置する交差点において、分かりやすさの向上のため、交差点名を明らかにする。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ● いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ● 案内する交差点手前において、分岐・右左折案内を行う信号交差点において、交差点名の表示板を設置する。 ● 信号機のアームに取り付けることを基本とする。 ● 交差点名については、交通管理者との協議のうえ、決定する。 		
デザインサイズ (mm)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>信号柱取付</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>信号アーム取付</p> </div> </div>		
設置イメージ			

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	案内標識	ルート案内 (予告)(案内)(確認)	B C D
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上での右左折交差点や迷いやすい分合流部において、進行方向を案内する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●案内する交差点手前において、交差点停止線の手前 10m、50m の 2 枚の案内看板、交差点通過後 10m に確認看板を設置する。 ●設置高さは 150cm よりも低い位置で対応する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ	<p> ※予告看板は交差点手前50mに1箇所 案内看板は交差点手前10mに1箇所 予告看板、案内看板、確認看板の3箇所を基本 </p> <p> 確認看板 ※交差点通過後10m </p> <p> 案内看板 ※10m手前 </p> <p> 予告看板 ※50m手前 </p>		



はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	案内標識	ルート案内（単路部確認）	E
役割	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車ネットワークのルート上で 5km 以上の不案内区間がある場合、進行方向(直進)を案内する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ● いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ● 5 km 以上の直進ルートが続く区間ではサイクリストが不安になることを避けるため、2.5 ~ 5.0km を目安に直進の案内を設置する。(5.0km 以上の直進での無案内を避ける) ● 設置高さは 150cm よりも低い位置で対応する。 		
デザインサイズ（mm）	<div style="text-align: center;"> </div> <p>※設置の際には歩行者、自転車との接触を考慮し、角の処理を施す。</p>		
設置イメージ	<div style="text-align: center;"> <p>案内看板</p> </div>		

はじめに

 1
ガイドラインの概要

 2
デザインの基本的な考え方

 3
自転車通行空間の整備

 4
案内標識と注意喚起標識の整備

 5
拠点施設の整備方針

 6
参考資料

名称	案内標識	距離標	F
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●各ルートでの走行地点をサイクリストに認知させる目的として、起終点からの距離を案内する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●ルートの起点から 5km 間隔で距離標を設置する。 ●設置高さは 150cm よりも低い位置で対応する。 		
デザインサイズ (mm)	<p>※設置の際には歩行者、自転車との接触を考慮し、角の処理を施す。</p>		
設置イメージ	<p>案内看板</p>		



はじめに

1 ガイドラインの概要



2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	案内標識	ルート案内	G
役割	●鉄道駅や空港、道の駅などの拠点でルートの概要や広域的なルートを案内する。		
設置基準	●いばらき自転車ネットワーク上の拠点施設に設置する。		
デザインサイズ (mm)	<p>W=1500 H=1200</p> 		
設置イメージ			

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	案内標識	拠点施設案内	H
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●サイクリストにとって起終点となりうるサイクリングターミナル（駐車場、鉄道駅、空港など）の方向と距離を案内する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上のサイクリングターミナル近傍には道路案内標記等も設置されていることに考慮し、ターミナル箇所の重なりを配慮したうえで手前2.0km、5.0km、10.0kmの地点を目安に案内看板を設置する。 ●10km以上案内する施設が無い場合について、直前の施設通過後またはルートの方岐部通過後に案内看板を設置する。 		
デザインサイズ（mm）			
	※設置の際には歩行者、自転車との接触を考慮し、角の処理を施す。		
設置イメージ			



名称	案内標識	休憩案内	I
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●サイクリストにとって利便性の高い休憩所、ポケットパーク、自転車サポートステーションなどの方向と距離を案内する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上で2.0km、5.0kmを目安に案内看板を設置する。 ●10km以上案内する施設が無い場合について、直前の施設通過後またはルートの方岐部通過後に案内看板を設置する。 		
デザインサイズ(㎜)	<div style="text-align: center;"> </div> <p>※設置の際には歩行者、自転車との接触を考慮し、角の処理を施す。</p>		
設置イメージ	<div style="text-align: center;"> <p>案内看板</p> </div>		

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	案内標識	ルート案内	J
役割	●いばらき自転車ネットワーク周辺の主要な観光地や展望台などの方向と距離を案内する。		
設置基準	●いばらき自転車ネットワーク上で、観光地への分岐部に必要に応じて案内看板を設置する。 ●設置箇所は、交差点の停止線から 10m 手前とする。		
デザインサイズ (mm)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div> <p>※交差点手前でのルート案内との混同を避けるため、矢羽根（横型）の案内看板で新たなデザイン作成 ※設置の際には歩行者、自転車との接触を考慮し、角の処理を施す。</p>		
設置イメージ	<p style="text-align: center;">案内看板</p>		



名称	案内標識	拠点施設案内	K
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●不特定多数の人が出入りする交通施設、観光施設、スポーツ施設、商業施設等の方向と距離を案内する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上で、特に案内が必要と考えられる各種集客施設については、必要に応じて案内看板を設置する。 ●案内する施設等は、公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団が発行している標準案内用図記号ガイドライン改訂版に示されているピクトを用いる。 		
デザインサイズ (mm)	<div style="text-align: center;">  </div> <p>※目的に応じてピクトを変更 ※設置の際には歩行者、自転車との接触を考慮し、角の処理を施す。</p>		
設置イメージ	<div style="text-align: center;">  <p>案内看板</p> </div>		

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	案内標識	拠点施設への分岐案内(予告) (案内) (確認)	W
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上の分合流部において、分岐先の拠点施設等の方向と距離を案内する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●案内する交差点手前において、交差点停止線の手前10m、50mの2枚の案内看板、交差点通過後10mに確認看板を設置する。 		
デザインサイズ (mm)	<p>※設置の際には歩行者、自転車との接触を考慮し、角の処理を施す。</p>		
設置イメージ	<p>※予告看板は交差点手前50mに1箇所 案内看板は交差点手前10mに1箇所 予告看板、案内看板、確認看板の3か所を基本</p>		



はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

ピクトグラム

1. 公共・一般施設 (10項目)



案内
Information



病院
Hospital



救護所
First aid



警察
Police



お手洗
Toilets



飲料水
Drinking water



コインロッカー
Coin lockers



休憩所 / 待合室
Lounge / Waiting room



水飲み場
Water fountain



自動販売機
Vending machine
[注2] (通貨記号差し替え可)

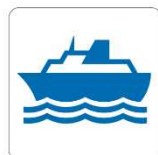
2. 交通施設 (4項目)



航空機 / 空港
Aircraft / Airport



鉄道 / 鉄道駅
Railway / Railway station



船舶 / フェリー / 港
Ship / Ferry / Port



レンタサイクル / シェアサイクル
Rental bicycle / Bicycle sharing

3. 商業施設 (2項目)



薬局
Pharmacy



コンビニエンスストア
Convenience store

4. 観光・文化・スポーツ施設 (7項目)



展望地 / 景勝地
View point



キャンプ場
Camp site



温泉
Hot spring



公園
Park



博物館 / 美術館
Museum



歴史的建造物
Historical monument



自然保護
Nature reserve ※

出典：(公) 交通エコロジー・モビリティ財団『標識案内用図記号』
HP: http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/pictogram/picto_top2017.html

はじめに

1 ガイドラインの概要


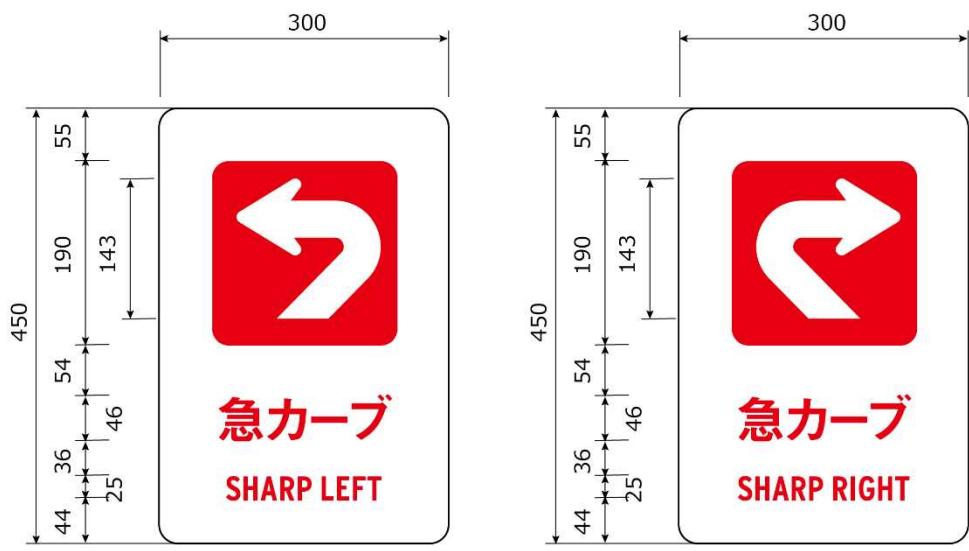
2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	注意喚起標識	急カーブ注意	L
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上の急カーブがあることを事前に周知する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●特に、山間部で自転車速度が速い区間で、その急カーブ手前の直線区間に設置する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ			



はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	注意喚起標識	狭幅員注意	M
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上で自動車の走行速度が速い区間や狭幅員道路で自動車との接触の恐れがある地点を事前に周知する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に必要に応じて設置する。 ●自動車の走行速度が速い区間においては、その上流の直線区間に設置する。また、その区間延長が長い場合には必要に応じて、その区間内にも設置する。 ●狭幅員道路の手前では、その上流の直線区間に設置する。また、その区間延長が長い場合には必要に応じて、その区間内にも設置する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ	 <p style="text-align: center;">注意喚起看板</p>		

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	注意喚起標識	歩行者注意	N
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上で見通しの悪い無信号交差点や狭幅員道路で人が多く集まる公共施設や小学校・幼稚園・保育園の手前など、歩行者の横断・飛び出しによる自転車との接触の恐れがある地点を事前に周知する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に必要に応じて設置する。 ●見通しの悪い交差点の手前においては、その上流の直線区間に設置する。 ●人が多く集まる施設の手前においては、その上流の直線区間に設置する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ			



はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	注意喚起標識	急勾配注意	0
役割	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車ネットワークのルートに急な上り坂、急な下り坂があることを事前に周知する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ● いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ● 特に、自転車速度が高くなる区間では、下りの急勾配手前の直線区間に必要に応じて設置する。また、上りの急勾配区間でも事前に周知する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ	 <p style="text-align: center;">注意喚起看板</p>		

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	注意喚起標識	合流注意	P
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上で見通しの悪い無信号交差点や変則交差点などで自動車との接触の恐れがある地点を事前に周知する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●見通しの悪い交差点や変則交差点の手前において、その上流の直線区間に必要に応じて設置する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ	 <p style="text-align: center;">  注意喚起看板 </p>		



はじめに

1 ガイドラインの概要

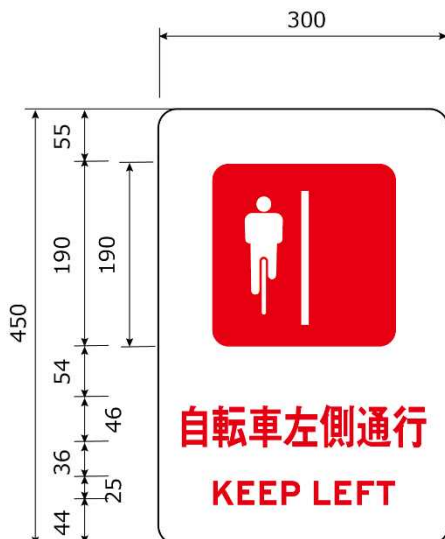

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	注意喚起標識	左側通行遵守	Q
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●サイクリストに対して左側を走行するよう周知する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●道路状況、交通状況に応じて、適宜、設置するが、特に、自転車通行量の多い区間に必要に応じて設置する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ	 <p style="text-align: center;">注意喚起看板</p>		

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	注意喚起標識	路面凹凸注意	R
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上で路面状況が悪くなる区間を事前に周知する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●舗装に凸凹がある場合は、修繕を行うことを基本とするが、サイクリングロードなど舗装の予定がない区間や修繕に時間を要する区間では、必要に応じてその手前に設置する。 ●舗装修繕が完了次第、撤去する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ			



はじめに

1 ガイドラインの概要


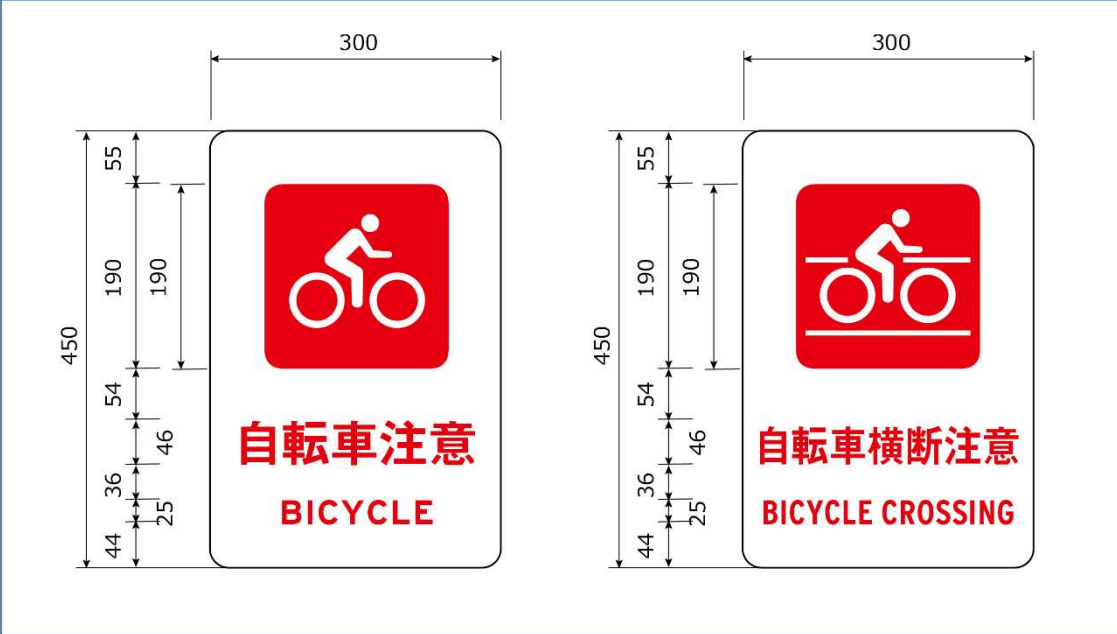

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	注意喚起標識	自転車横断注意	S
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルートで自転車が人や車と錯綜する区間において、歩行者や車のドライバーに対して注意を促す。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●自転車が人や車と錯綜する区間では、その上流側と下流側に必要に応じて設置する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ			

はじめに

1 ガイドラインの概要


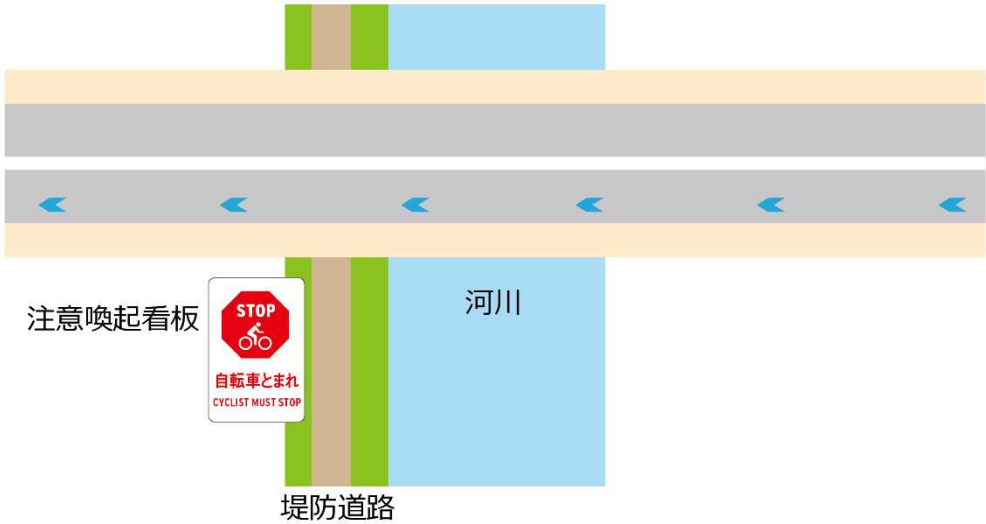
2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	注意喚起標識	自転車止まれ	T
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上で自転車が止まらないことにより、自動車や歩行者と接触のおそれがある危険箇所を事前に喚起する。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●自転車専用道路や堤防道路から車道に合流する地点、無信号交差点で車と歩行者と接触する恐れがある地点では、必要に応じてその手前に設置する。 		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ			



はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	その他（補助標識）	応援メッセージ	U
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●特に、ヒルクライム、ロングライドを楽しむサイクリストに対して、応援メッセージを送る。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●拠点施設や観光地が近い区間、上りの急勾配が続く区間に必要に応じて設置する。 		
デザインサイズ（mm）	<p>※補助サインは3つに区分し設置目的・箇所に応じて適切な構成を行う</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="454 705 638 1355"> </div> <div data-bbox="798 705 1404 1366"> <p>「ピクト」サインの例</p> <p>「応援」サインの例</p> </div> </div>		
設置イメージ	<p>※1.0km 毎（登山ルート：頂上を目指す九折の道路）に注意喚起（道路線形）の標識を設置する</p> <p>※2.0km（麓のルート：登山ルート入口からサイン設置箇所までの距離）</p>		

はじめに

1 ガイドラインの概要

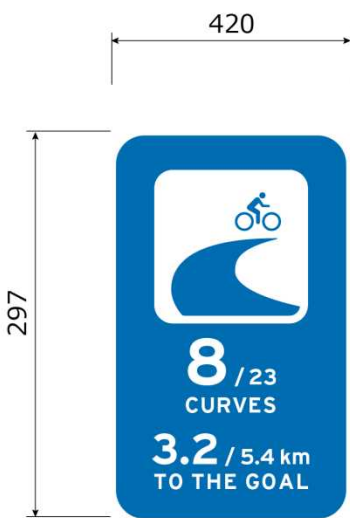

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 参考資料

名称	その他（補助標識）	応援メッセージ	V
役割	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車ネットワークのルート上の峠において、急カーブ・急勾配があることに加えて、応援メッセージも兼ねた案内を行う。 		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> ●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。 ●特に、山間部で自転車速度が高い区間では、その急カーブ手前の直線区間に必要に応じて設置する。 		
デザインサイズ（mm）	 <p>「応援」サインの例</p> 		
設置イメージ	